

プレス・リリース

2016年5月19日

## プリンセス・クルーズ、新クラスとなる「クラブ・クラス」と 新客室カテゴリー「プレミアム・ジュニア・スイート」を発表

VIP ゲストサービスやアメニティを提供するほか、  
クラブ・クラス専用ダイニングエリア、  
プリンセス・ラグジュアリー・ベッドなど様々な特典をご用意



[プリンセス・クルーズ](#)は、VIP 用アメニティや専用ダイニングなど様々な特典を提供する新しいプレミアムクラスの「[クラブ・クラス](#)」を発表しました。今回発表するクラブ・クラスの対象となる2つの客室、「スイート」と新登場のジュニア・スイート\*の上級クラス「プレミアム・ジュニア・スイート」では、専用エリアでのお食事やさらなるメニューオプションが加わったクラブ・クラス・ダイニング、優先乗下船といった特典を提供するほか、新規導入の[プリンセス・ラグジュアリー・ベッド](#)を他の客室に先駆けてご提供いたします。

「クラブ・クラス」と「プレミアム・ジュニア・スイート」は、革新的で魅力あふれる画期的な設備・サービスを導入し、プレミアムなクルーズ体験を提供するプリンセス・クルーズの「[カム・バック・ニュー・プロミス](#)」プログラムの一環で、2016年12月から一部の客船で先行導入され、2017年秋にかけて他の客船にも展開する予定です。詳細については、ウェブサイト [princess.com/clubclass](http://princess.com/clubclass) (英文) をご覧ください。

プリンセス・クルーズのジャン・スワーツ社長は次のように述べています。「クラブ・クラスとプレミアム・ジュニア・スイートの導入は、お客様により充実したクルーズの旅を楽しんでいただけるようにもう一つの上級カテゴリーをご提供するものです。新設のクラブ・クラス・ダイニングなどVIP特典が



## PRINCESS CRUISES

充実しているので、プレミアムな素晴らしい船旅を体験できることでしょう。日常から解放されて心からくつろぎ、世界各地の寄港地の魅力を存分に味わう、まさに『カム・バック・ニュー』（新しい自分に生まれ変わる）というプログラムのタイトルどおり、心身ともにリフレッシュしていただけます」。

### クラブ・クラス・ダイニング

さらに便利に使いやすく、魅力的なメニューを取りそろえたクラブ・クラス・ダイニング

- メイン・ダイニング内の専用エリアでのお食事
- 専任のスタッフによる給仕、特別なテーブルセッティング
- 本日のシェフのおすすめや、テーブルサイド・サービスを取り入れたクラブ・クラス専用メニュー
- 夕食は毎日、朝食および昼食は終日航海日にオープン

### アップグレードされたアメニティやサービス

さらに「クラブ・クラス」では、以下のVIP特典をご用意しています。

- プリンセス・ラグジュアリー・ベッド：専門資格を持つ眠りのエキスパート、マイケル・ブレウス博士、米国ケーブルTVの人気番組に出演している有名デザイナーであるキャンディス・オルソン氏のコラボレーションによって開発された新型ベッドで、「海の上の究極の眠り」をクラブ・クラスのお客様へいち早くご提供
- 出航時の優先チェックインおよび優先乗船、帰港時の優先下船
- 乗船日にワインを一回無料提供（赤・白のハーフボトル）
- イブニング・カナッペ（リクエストベースでお届け）
- ラグジュアリーなテリーショールカラーのバスローブ

なお、スイートのお客様には、「プレミアム・ジュニア・スイート」と同様のクラブ・クラス特典（クラブ・クラス・ダイニングなど全特典、新プリンセス・ラグジュアリー・ベッドを含む）のほか、「スイート」向けの数多くのアメニティをご用意しています。

「プレミアム・ジュニア・スイート」では、「クラブ・クラス」ならではの専用ダイニングや各種のアメニティ、サービスのアップグレードに加え、ジュニア・スイートの標準である最大約30平方メートルのゆったりとした客室、ソファベッドとコーヒーテーブルを備えた独立シーティングエリア、バスルーム（バスタブ、シャワー付き）、ウェルカム・グラススパークリングワインなどの設備・特典をご利用いただけます。

今回新設される「クラブ・クラス」と「プレミアム・ジュニア・スイート」は、プリンセス・クルーズが発表した「カム・バック・ニュー・プロミス」プログラムの一環で追加されました。同プログラムは複数年にわたり巨額を投じて実施され、船の旅を一層充実させる新たなイノベーションを導入するもの



## PRINCESS CRUISES

です。この「カム・バック・ニュー・プロミス」プログラムには、世界的に高い評価を受けている人気シェフで、レストランオーナーでもあるカーティス・ストーンと提携し、斬新な料理の提供、「ソルティ・ドッグ・ガストロパブ」では、人気ハンバーガーショップ「ウマミ・バーガー」創業シェフのアーネスト・ウチムラ氏が手がける「アーネストバーガー」をお楽しみいただけます。さらに「ディスカバリー・アット・シー」は、天文情報番組『スターゲージング』、ディスカバリーチャンネル&アニマルプラネットによる特別な寄港地観光、「シャークウィーク」など、ディスカバリーチャンネルが手がける人気番組をベースに多彩なアクティビティを船上・寄港地で展開します。また、「ボイス・オブ・オーシャン」（のど自慢コンテスト）や、ミュージカル『ウィキッド』で知られ、数々の受賞歴を誇る人気作詞・作曲家スティーヴン・シュワルツが手がけたオリジナル作品『マジック・トゥ・ドウ』などがあります。

\*ジュニア・スイート：英語ウェブサイトに記載の「MINI-SUITE（ミニ・スイート）」と同様です。

### プリンセス・クルーズについて

クルーズ業界で最もよく知られる名前の一つであるプリンセス・クルーズは、現在 17 隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、アメニティの豊富な選択肢を、上質のサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間 170 万人のゲストを世界中の目的地に向けて、4 泊から 111 泊のクルーズを運航。プリンセス・クルーズは、カーニバル・コーポレーション& plc (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

### プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を 2015 年 12 月に
- 受賞（9 年連続の受賞）。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を 2014 年に引き続き 2015 年 12 月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015 年 10 月に受賞
- 第 1 回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、観光関連産業部門の部門賞を、2015 年 8 月に受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2014」を、2015 年 6 月に受賞
- 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー 2014」において、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが「グランプリ」受賞
- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において 2014 年度、2015 年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第 1 位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第 1 位」、「総合部門第 3 位」を二年連続で受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2014」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」受賞
- 一般社団法人日本旅行業協会主催「JATA ツーリズム大賞 2013」において、「運輸部門優秀賞」受賞



## PRINCESS CRUISES

- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」主催「トラベル・ウィークリー・マゼラン・アワード 2013」において、客船『ロイヤル・プリンセス』（新造船『リーガル・プリンセス』の同型姉妹船）が「ベスト・ラージ・クルーズ・シップ金賞」受賞
- 米国トラベル誌大手「コンデナスト・トラベラー」主催「コンデナスト・トラベラー読者投票 2013」において、日本発着クルーズに就航している『ダイヤモンド・プリンセス』を含む客船6隻が「ベスト・クルーズ・シップ・イン・ザ・ワールド Top 20 ラージ・シップ」に選出
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ 2012」を、2013年6月に受賞

プリンセス・クルーズに関する詳細は、プリンセス・クルーズの日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>) もしくは、TEL: 03-3573-3610 まで。

株式会社 カーニバル・ジャパン  
(プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)

<http://www.princesscruises.jp/>

TEL: 03-3573-3610